

御室会館

御室会館は 1978 年に若者の精神的な成長と身体的な発達のためのセンターとして建設された。仁和寺におけるその機能は、その後、大きく変化してきた。これまで、海外からの訪問者のための宿泊施設として、また研究シンポジウムや会議の会場として、また他の用途にも使われてきた。現在では、仁和寺に宿泊を希望するすべての訪問者のための宿泊施設として使われている。御室会館に宿泊すると、昼間の訪問者が体験することのできない寺の生活の一面を体験することができる。例えば、寺が一般公開されていない時間帯に行われる儀式に参加することができ、仁和寺を生活の場としている僧侶たちの暮らしを垣間見ることができる。また、訪問者は御室会館の有名な夕食も味わうことができる。仏教では殺生を禁じているので、一般に菜食が要求される。しかし、この会館では日本の伝統的な料理が幅広く提供され、その味もおいしいので、他の仏教寺院の宿坊での宿泊とは違った宿泊体験が楽しめる。